

地理総合プリント【気候】教 p.58-83 資 p.42-68,222-229 総ノート p.52-77

本日の問い

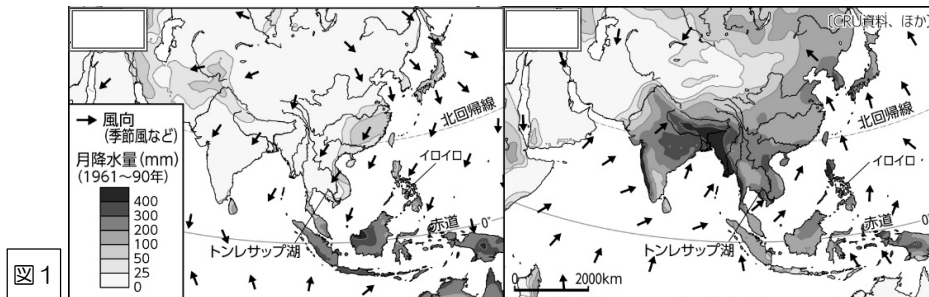
『東南アジアでは、気候を生かしてどのような生活文化が育まれてきたのか？』

問いの答え [学習前の予想]



7 _____の影響と人々の生活

例①



① 図1の左の図と右の図は、_____と_____のどちらか？そのように判断した理由は？

② _____によって、降水量はどのように変わるか？その理由は？



_____の場合

教科書p.76-77を読みながら、次の文章に適語を記入しよう

■東南アジアの気候は①_____の影響を受けており、インドシナ半島では、5～10月ごろに海から大陸に向かって、南西の湿った風が吹くため②_____となる。一方、11～4月ごろには、大陸から海に向かって、北東の乾燥した風が吹くため③_____となる。

■①によってもたらされた雨が流れるメコン川やチャオプラヤ川などの河口付近には、巨大な④_____が発達している。

■**変動帯**に位置するインドネシアやフィリピンの島々では多くの火山がみられる。

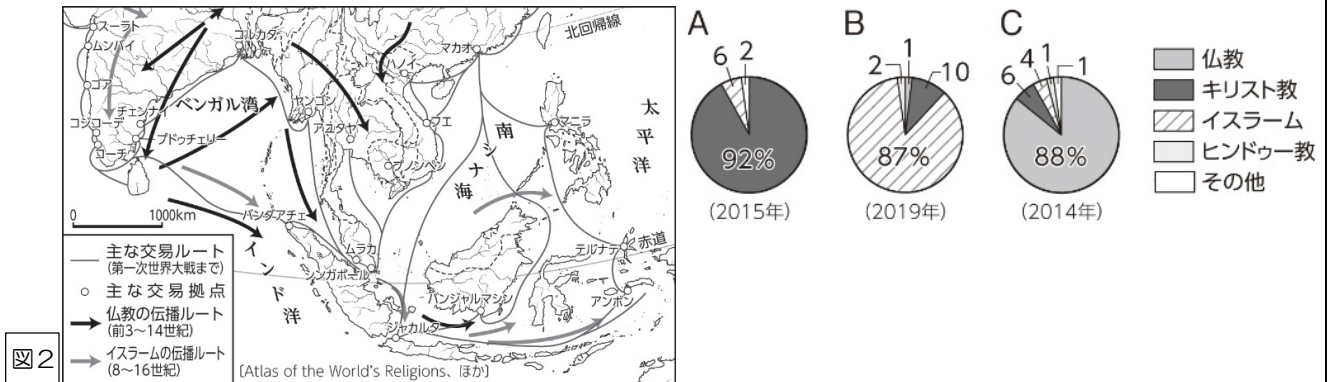
■東南アジアは季節風を利用した船の往来が盛んで、古代から海の交易が行われ、多くの人々が渡来し、言語や宗教・芸術・社会制度など、さまざまな文化をもたらしてきた。宗教を例にすると、インドから伝えられた⑤_____はタイやミャンマー、カンボジアにおいて、現在でも人々の生活に大きな影響を与えている。また、ムスリム商人がもたらした⑥_____は、交易の拡大とともにマレー半島やインドネシアの島々に広がった。

■交易や植民地化の歴史を通して、東南アジアの国々は多くの民族が混在する⑦_____となった。例えばマレーシアでは、マレー系住民のほか、⑧_____や⑨_____とよばれる中国系住民やインド系住民も多く、政府は中国系住民と現地のマレー系住民との経済格差を是正するために、**プミプトラ政策**を導入し、民族の共生を図ってきた。

[Work & Question]

Work 1 左下の図2の「仏教の伝播ルート」を赤、「イスラームの伝播ルート」を青でなぞろう

Question 1 右下の円グラフA～Cは、インドネシア、ミャンマー、フィリピンのいずれかのグラフである
グラフA～Cに当てはまる国をそれぞれ答えよう



Question2 仏教の伝播ルートとイスラームの伝播ルートの違いについて、左ページの図1も参照して、30字以上60字以内で説明しよう

[illegible]

 POINT

- 東南アジアの気候と生活文化との関係
- _____を利用した交易と宗教の伝播

🔑 季節風(モンスーン) 雨季 乾季 三角州(デルタ) 変動帯 仏教 イスラーム(イスラム教)
多民族国家 華僑 華人 プミプトラ政策

今日の問い

『東南アジアでは、気候を生かしてどのような生活文化が育まれてきたのか？』

問いの答え [学習後のまとめ]



▼ **振り返り**（できたら☑をつけよう）

- ☐ 問いの答え [学習後のまとめ] を “自分の言葉” で書く
- ☐ ~~Google~~ フォームに回答 今回の授業のフォームの回答はありません

2年 組 番 名前